

(H P公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：自民党青雲会政務調査（同行議員：公明党 佐野弘仁議員）

2 調査報告概要

調査者 会派名等	[会派名、調査者全員の氏名] 会派名：自民党青雲会 調査者：永井 学 (他 公明党 佐野弘仁議員)
調査内容	<p>1 調査目的</p> <ul style="list-style-type: none">・移住・定住・二拠点事業への施策やイクボスの取り組みなどを調査し、本県の施策に対する助言や政策立案に役立てる。 <p>2 調査テーマ</p> <ul style="list-style-type: none">・地方移住・定住サポート支援事業について・イクボスの取り組みや登録企業への訪問・連携協働による社会的教育指導、学校教育的指導について <p>3 調査期間</p> <p>令和3年12月21日～令和3年12月23日（2泊3日）</p> <p>4 調査地 [海外→国名・都市名]・[国内→都道府県名・市町村名]</p> <p>鳥取県・鳥取県智頭町・島根県</p> <p>5 その他</p> <p>同行者：公明党 佐野弘仁</p>

3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

[調査テーマ]	[調査項目] ・移住・定住サポート事業について [選定理由] ・様々なPR方法やサポート事業の取り組みについてHPでの施策紹介などが参考になるため本県でもより一層の促進を図っていくために選定した。
[調査テーマ]	[調査項目] ・イクボスの取り組み ・参加企業への訪問 [選定理由] ・行政と企業が一体となっての子育て支援している中、女性の進出を応援していく施策が参考になるため選定した。
[調査テーマ]	[調査項目] ・学校、家庭、地域が連携協働する教育環境事業について [選定理由] ・学校、家庭、地域の連携・協働で子供達を育てていく中で学びの大切さを知る教育の魅力化についての施策を本県の子育て支援の参考になることから選定した。

4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

調査項目	都市名・施設名・担当者名及び選定理由
観光振興 二拠点居住推進	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 鳥取県鳥取市 鳥取県 議会事務局総務課 （山本主事） [選定理由] ・移住・定住事業の取り組みを調査するため
観光振興 二拠点居住推進	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 鳥取県智頭町 智頭町議会事務局 （柴田局長） [選定理由] ・移住・定住及び多様性ある町づくりを参考にするため
子育て支援	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 島根県松江市 島根県議会事務局 （佐藤企画幹） [選定理由] ・男女共同参画が後退しないように先進地の取り組み視察調査し本県に有効な施策を提言するための調査を目的とする。
子育て支援	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 島根県松江市 長岡塗装店（専務） [選定理由] ・「イクボス」優良企業での企業側からのノウハウや取り組みなどの調査を参考にするため。
生涯学習	[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 島根県松江市 島根県教育庁（木原様） [選定理由] ・学校や家庭、地域が連携協働しながらの子供を育てる取り組みを調査するため

5 調査内容

○調査テーマ：(移住定住サポート支援施策)

調査項目	とっとり移住定住支援事業について		
調査都市等	鳥取県鳥取市東原 1-220	調査日	12月21日
調査結果概要	人口減少や過疎化を防止するための移住定住者に支援サポートの一環として移住応援メンバーズカードなどの登録をし様々なサポートをしていく。		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
永井 学	移住定住促進、関係人口促進などを目的とし、首都圏に赴く際の航空券代を県がサポートする。特に面白いと感じたのは「子供たちに関する支援」で、島根県内に住む子供たちに県内で体験出来ない事を体験させるために補助を出しているということ。移住促進等もあるが人材育成、郷土教育等にも寄与していると感じた。

○調査テーマ：(智頭町移住定住サポート)

調査項目	智頭町移住定住サポート（板井原地区開発事業）		
調査都市等	鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2072-1	調査日	12月22日
調査結果概要	町が主となり智頭町空き家・土地情報バンクを運営し、移住希望者に最新情報を紹介したり空き家の改修・購入に対する補助金等を幅広く支援している。 智頭町独自の自然豊かな環境に都会からの移住者も多いことなどを考えると自然豊かでは山梨県も負けてはいない状況であるので移住定住者に支援サポートを増やしていくよう考えたい。		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
永井 学	空き家再生住宅が町内に7棟あり、町が無償貸与を受け移住者に低額の家賃をもらうなど、空き家対策解消と移住政策を繋げた政策を感じた。子育て世代などの移住政策は、45歳未満で新築を購入・改修した場合の補助や支援を行っている。 町ぐるみで奨学金を作ったり町外に出た子供達には町の情報を送ったりしている。

○調査テーマ：(イクボスの取り組み)

調査項目	イクボスの取り組み		
調査都市等	島根県松江市殿町1番地	調査日	12月22日
調査結果概要	<p>部下の仕事と育児や介護などの私生活の両立を考え、キャリアと人生を応援しながら効果を上げていく管理者や経営者の事をイクボスと名付けることと共に女性きらめき応援を推進母体として多くの企業へ進め広げていく取り組みである。</p> <p>仕事と家庭の両立支援を進めるため、支援する側、される側の理解や同僚などの理解を含め意識や行動を変えていく働きやすい環境づくりなどを本県も参考に取り入れたいと考える。</p>		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
永井 学	男性の家事育児時間の創出と働く女性を応援するための施策を積極的に行っている。特にこれらのテーマを部局横断の柱として位置づけて行っているのは素晴らしいと感じる。山梨県も知事政策局が中心となってテーマを決めもっと積極的に部局横断プロジェクトを立ち上げても良いのではと感じた。

○調査テーマ：(イクボス優良企業)

調査項目	イクボス優良企業（企業側からの視線）		
調査都市等	島根県松江市西嫁島1-2-14	調査日	12月22日
調査結果概要	<p>企業側から社員に対しての有給休暇取得を時間単位で取れるようになり休みやすい環境づくりやほかの社員にも休暇や時間休などが分かり易いようにすることで社員全員が働きやすい職場環境を整える事は大切だと考える。</p> <p>子育ての最中では突発的な状況になりやすい事が多く、休みづらさを感じている人は多いと思うので双方が理解をしながら環境づくりは大切だと考える。</p>		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
永井 学	世間で騒がれる前から時間単位での有給休暇を可能にしたり仕事を見える化して誰がどこで仕事をしていて、何時から時間休を取るのか一日休暇を取るのかが一目で分かるようにしている。社内でも授業参観や急な病気でも躊躇なく休める環境づくりも行われている。イクボスとして上司の理解を深めることは当然だが会社内の雰囲気づくりも大切だと感じた。

○調査テーマ：(連携協働による教育指導)

調査項目	連携協働による社会的教育、学校的教育		
調査都市等	島根県松江市殿町1番地	調査日	12月22日
調査結果概要	故郷教育の推進で始めた事業が10年以上続けて、ようやく根が出始めたと言われるくらい根付くには時間が要する事業である。学力や社会力、人間力を育む教育方針に学校・地域・家庭・行政が連携協働する心豊かな人づくりを考えている取り組みである。 本県でも安全で安心な環境づくりを多方面からの連携で子供たちの未来を考え地域や社会に開かれた教育を学べる体制を構築していく必要があると考える。		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
永井 学	故郷教育の推進ということで、平成17年から全小中学校を対象に年間35時間以上の故郷教育を実施（小学校197校、中学校92校）。県で足りない予算は市町村が負担。最初は市町村でも反発があったが粘り強く働きかけて解消した。高校生に対しては小中で育んだ郷土愛の更なる醸成のため「学校と地域の連携」を推進。地域課題解決学習として高校と地域の組織（故郷魅力化コンソーシアム）を創り地域の方と一緒にになって、この町がどうすれば良くなるかを考える機会を設けた。山梨県で行われているような年数十万円の予算のコンクールだけでは郷土愛は育たないと感じた。本県も早急の対策が必要であると痛切に感じる。

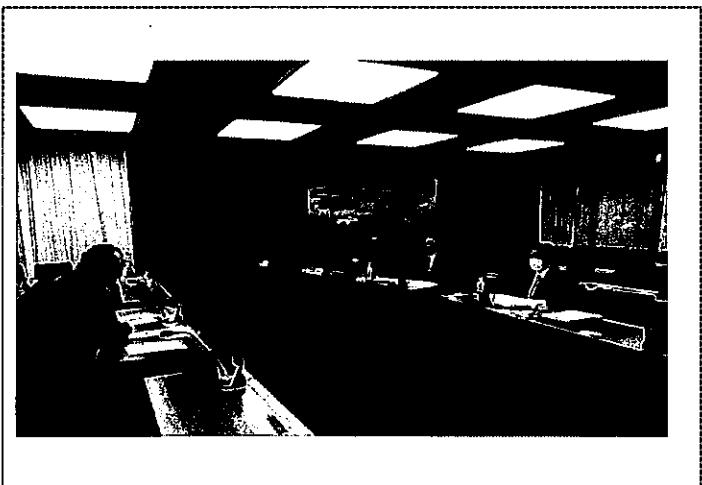
※調査テーマ毎に作成

6 調査状況（写真）

R3年12月21日 調査先（鳥取県）



(コメント) 鳥取県議会事務局にて

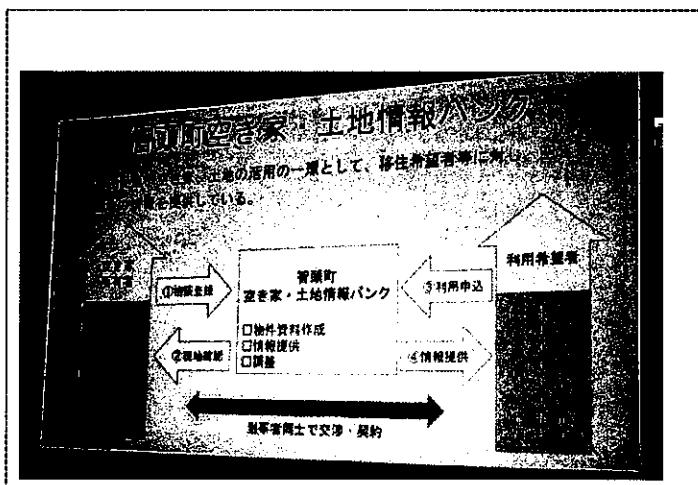


(コメント) 移住定住についての説明
を受ける。

R3年12月21日 調査先（鳥取県智頭町）

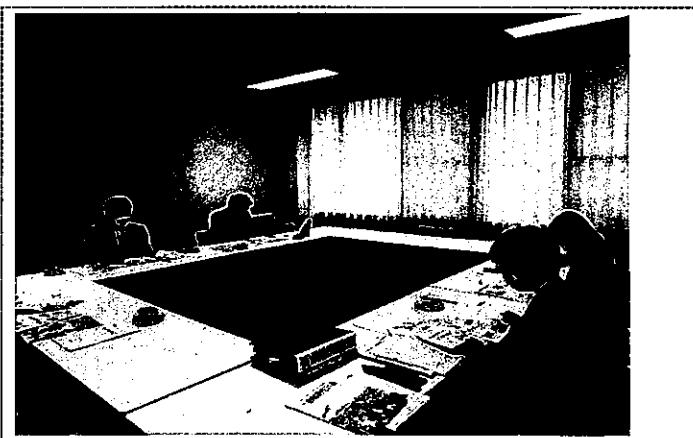


(コメント) 智頭町議会事務局

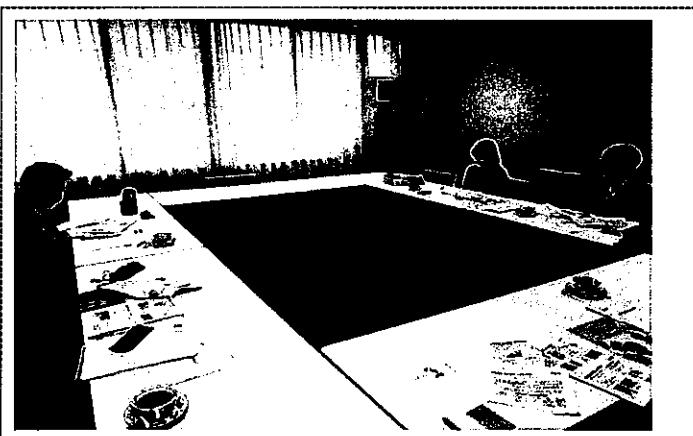


(コメント) 智頭町空き家・土地情報
バンクについて説明を受ける

R3年12月22日 調査先（イクボスの取り組み）

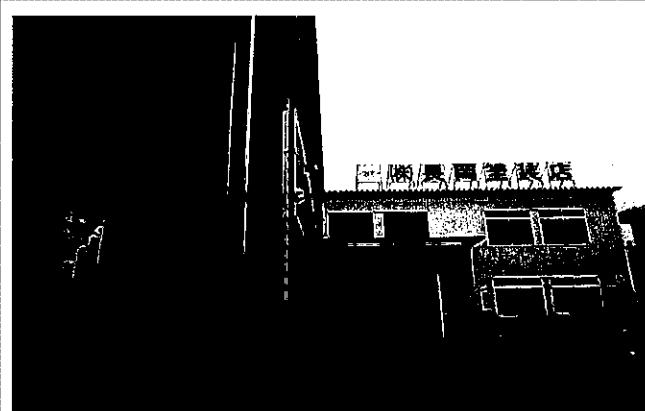


(コメント) 島根県議会事務局



(コメント) イクボスの取り組みについて説明を受ける

R3年12月22日 調査先（イクボス優良企業）

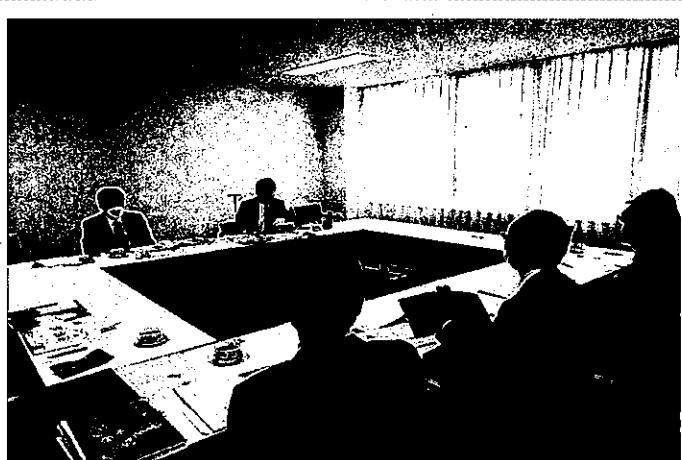


(コメント) 株式会社長岡塗装店



(コメント) 企業目線での説明を受ける

R3年12月23日 調査先（連携協働教育）



(コメント) 島根県議会事務局

(コメント) 連携協働の教育について
説明を受ける

